

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	高津区第1グループ(上作延・高津)	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども未来局青少年支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H26		H27		H26		H27	
	1 上作延こども文化センター ①年間延べ利用者数	38,180人		36,269人		②年間延べ利用団体数	425団体	393団体
2 上作延小学校わくわくプラザ ①登録者数	309人		309人		②年間延べ利用者数	17,436人	18,554人	
3 南原小学校わくわくプラザ ①登録者数	175人		177人		②年間延べ利用者数	10,645人	10,960人	
1 高津こども文化センター ①年間延べ利用者数	45,947人		48,323人		②年間延べ利用団体数	198団体	169団体	
2 高津小学校わくわくプラザ ①登録者数	477人		478人		②年間延べ利用者数	35,476人	33,766人	
3 下作延小学校わくわくプラザ ①登録者数	192人		197人		②年間延べ利用者数	13,687人	15,575人	
4 久地小学校わくわくプラザ ①登録者数	481人		467人		②年間延べ利用者数	26,858人	24,189人	
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 127,665,987 2 支出 人件費 101,357,679 事務費 9,107,418 事業費 6,360,444 その他経費 3,132,076 合計 119,957,617 3 差引 7,708,370							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、活動や運営に反映。事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など地域を超えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進及び事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 複数館運営するスケールメリットを活かし、全施設及び複数館の合同行事を実施し、複数館で実施ならではの体験をし、地域や学校を超えて交流を深められている。グループ合同事業としては、黒川青少年野外活動センターでの宿泊を伴う野外活動において、カレー作り等を通して自主性や協調性を育み、また、スポーツ行事「あついで！ドッジスタジアム」では、団結力や協力する大切さについて学ぶ機会を作っている。こども文化センターにおいても、小学生・中学生との交流を目的として実施した「交流ドッジボール大会」では、小中学生だけでなく高校生が審判として参加し、異年齢交流を通じて、相手を思いやる気持ちや協調性、中学生・高校生の主体性を育む機会を作っている。さらに、「親子ヨガ」は、土曜日に設定したことや電話での申込みも可能にしたことで、気軽に参加できるよう配慮し、同じ月齢くらいの子どもの持つ親の交流の場として多くの家族の参加があり、また父親や平日勤務している方など利用者の層が広がり、グループ全体の利用者数も増えている。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続 効率的・効果的な支出	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
		計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
(評価の理由) 会計処理・金銭処理については適正に行われている。受託20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取り組みによる経費削減を図った。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	4	4
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	子ども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	3	6
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
<p>(評価の理由) 広報については、こぶんたより、HPなどのほか、転入生子育て交流会や子育てフェスタ、子ども子育てネットワーク会議に参加し、子ども文化センターの紹介を行った。利用者への対応については、原則として同じ職員が一貫して子どもの対応に従事することにより、対応の継続性の確保と、子どもや保護者との信頼関係を構築している。特別な配慮を要する利用者への対応についても、学校や保護者と情報交換をすることで、一人ひとりの子どもの発達過程や障害の状況について把握することに努め、特別な配慮を必要とする児童に対する理解を深めるため、巡回相談員を講師として研修を実施し、特別な配慮を必要とする児童の対応について、スキルの向上を図った。また、小学校の教務主任や特別支援担任教諭と連絡を取り合い、特別な配慮を必要とする児童への対応の情報共有し、毎月のスタッフ会議で特別な配慮を必要とする子どもの情報交換を行い共通理解を図っている。さらに、個別ノートの記録を基にスタッフ間の共通認識を図り、また保護者と積極的にコミュニケーションを図ることによって児童の理解を深め、安全で安心な居場所作りの充実を図っている。わくわくプラザの「ウインターパーティー」は、日程を土曜日に設定することで保護者の参加人数の増加につなげ、わくわくプラザの運営の様子や児童の様子を知ってもらう機会となっている。保護者懇談会では親子で参加できる作業を交え、懇談会への積極的な参加を促していた。前年度好評であった行事等は利用者の声を反映することを意識し、また行事ごとに参加者アンケートを行い、参加者の満足度を把握している。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	川崎市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例第54条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		子ども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	4	8
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 適正な人員配置については、子ども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正に職員が配置され、利用児童数や特別な配慮を必要とする児童などの状況に応じて、適時、職員を加配しており、円滑な事業運営が行われた。研修体制については、法人全体の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的な研修が行われていた。個人情報等の取扱については、個人情報や電子データは鍵のかかる保管庫に保管されている。情報漏えいや紛失等の事実はなかった。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか			
	利用者の安全確保	事故等が発生した場合に適切な対応をしているか	5	4	4
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
		施設の防犯のための工夫をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか	5	4	4
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 事故対応マニュアルを用いて、職員会議やスタッフ会議で対応について確認したほか、食物アレルギー事故防止のため、食品を扱う行事については申込の際に食品成分表を掲示し保護者の確認を得てから受け入れていた。また、全ての蛍光灯を飛散防止蛍光灯に取替え、事故の未然防止に備えている。さらに、事故発生時に備え、日本赤十字社に講師を依頼し、応急手当研修を利用者の安全確保に取り組んでいる。各施設で災害時対応マニュアルを作成し、災害用備蓄品、発電機を保管し災害時に活用できるように準備し、定期的に点検・動作確認をしたほか、消防署の協力を得て避難訓練を実施している。また、災害時、停電時に通信網が途絶えた場合を想定し、財団本部、子ども文化センター、各区役所間を電動自転車にて情報伝達を行う訓練を実施するなど、防災対策に取り組んでいる。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

指定管理者以前から委託事業者として子ども文化センター及びわくわくプラザの運営管理に携わっていた経験を生かし、53施設の指定管理者として法人本部を中心に、全市規模、区規模の合同行事や事業を展開できている。また、利用者の声を反映することを意識し、また行事ごとに参加者アンケートを行い、参加者の満足度を把握し、改善点や反省を活かした運営をしている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、子ども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキル向上に努め、利用者にとって各施設がより居心地の良い場となることを期待する。